



市子連マーク

大阪市子ども会

いばせい

大阪市子ども会
育成連合協議会
発行者 森下 秀海
令和4年12月1日

発行所：大阪市中央区法円坂1-1-35 アネックスパル法円坂 市子連広報調査部 Tel.6941-1116 Fax.6943-8906



会長就任のごあいさつ

大阪市子ども会育成連合協議会会長 森下 秀海

この度、令和四年度より大阪市子ども会育成連合協議会会長の大役を仰せつかりました森下です。

もとより微力ではございますが、気引き締め、子ども会活動の原点に立ちかえり、皆様方と精一杯頑張る所存でございます。ご指導並びにご協力を宜しくお願い致します。

大阪市子ども会育成連合協議会は、昭和三十年に結成され今日を迎えていきます。永年にわたり子ども会発展のために、ご尽力をいただいた歴代会長・役員の皆様方、各区育成者・指導者の方々をはじめ、行政機関並びに関係団体各位の温かいご支援に厚く御礼申し上げます。



本年度は大阪市で開催された【指定都市子ども会育成研究協議会大阪大会】におけるスローガン「With Youナで未来につなげよう」のもと、皆様と力を合わせ、子ども会活動の活性化と会員の増加を図っていきたいと思っております。

今後とも大阪市子ども会育成連合協議会の運営・行事活動に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げ、新任のご挨拶とさせて頂きます。

令和四年度・五年度
大阪市子ども会育成連合協議会
役員・専門部長紹介



前 窪 一 幸 (第五分隊)

鼓笛隊隊長

体育部長

中 村 晃 次 (平野区)

広報調査部長

南 山 本 哲 也 (此花区)

安全対策部長

前 川 繁 次 (都島区)

事務局長

徳 川 悅 嗣 (西淀川区)

指導研修部長

上 田 和 世 (平野区)

会計

加 茂 聖 恵 (鶴見区)

副会長

住 友 俊 明 (淀川区)

副会長

木 村 勉 (西淀川区)

副会長

森 下 秀 海 (住之江区)

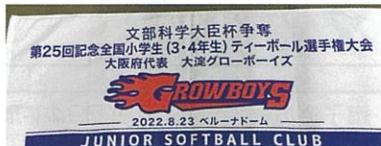


北区

第一十五回記念

全国小学生（三・四年生）

ティーボール選手権大会



各 区 の 活 動 記 事

大淀小学校のチーム（大淀グローボーズ）が八月二十三日（火）ティーボール全国小学生大会（ベルナードーム）に大阪府代表で出場し、ベスト8に入りました。

子ども達は、夏休みの期間、大会を楽しみにして練習に励み、多くの応援を頂いた事に感謝できる様になりました。来年も後輩たちが出来ることを願っています。

都島区

都島区では、コロナ禍で活動が制限され、中止を余儀される行事が続々中、何とか少しでも子ども達に活動の場と思い、形を変えてスポーツ大会を実施しました。

令和三年度は「秋季・ドッヂボーリング大会」

を開催し、基本練習と練習試合を行いました。久しぶりに都島区全体の行事で、帰り際に子ども達から「今度はいつ？すぐにやってほしい」と喜んでくれていた事が何よりでした。

今年度は参加チームこそ減少しましたが、大会として開催する事が出来ました。中には合同チームでの参

加や、例年ならば行わない低学年の合同練習試合なども加えました。これからも、少しでも多くの子ども達が参加出来る様、心懸けていきたいと思います。

福島区

福島区では、六月一九日（日）にソフトボールとキックベースボールの区親善大会を開催しました。

梅雨入り後で天気が心配でしたが、幸いにも曇り空が保たれて暑すぎず、試合日和の陽気でした。

大会の成績は

ソフトボール

優勝 「鷺洲連合子ども会」

準優勝 「海老江東連合子ども会」

キックベースボール

優勝 「玉川連合子ども会」

準優勝 「福島連合子ども会・大開

連合子ども会連合チーム」

となりました。

コロナ禍で行事の中止や縮小が相次ぐ中、久しぶりにコロナ前と変わらなく開催できました。

各試合で子ども達が一生懸命に戦う姿を見ると、行事を無事に開催できる大切さを改めて感じました。

此花区

二〇二一年五月二十九日（日）子供達に土を触る楽しさを知つてもらうため、町内にある子ども会の菜園で玉ねぎ収穫祭を開催しました。

ここ二年間、コロナ禍の影響で毎年恒例の行事が開催が出来ないことで元気に収穫を楽しむことが出来ました。

地域の子供達約五十名が参加し、丸々と育った玉ねぎを次々と収穫。満足顔で玉ねぎのいっぱいになつた、重たいバケツを一生懸命に運ぶ子供達の姿を見ることが出来て、本当に良かったです。



中央区

中央小校下子ども会活動

五月十五日に潮干狩りに行くことが出来ました。三年ぶりで「口ナ禍での開催」ということもあり、高学年の募集となりましたが、五十九名が参加してくれました。

もちろん、検温・消毒やバス車内での感染予防対策を徹底しました。

「やっと行ける」「めっちゃ楽しんでてん」と子ども達は元気いっぱいです。あいにく気温が低く、海水もとても冷たかったのですが、一生懸命、貝を探して「こんなにあったで！」と見せに来てくれた子どももいました。

子ども会スタッフとして初めて参加したイベントでとても緊張しましたが、子ども達の笑顔で吹き飛びました。



西区

開平小校下子ども会活動

六月十八日に親子ボルダリング体験を約五十名の参加者で行いました。施設スタッフからの説明を受けた後、それぞれのレベルに合わせたコースに挑戦し、「この色のコースをやってみる…」「次のホールドは右上のやで…」「がんばれ！」など楽しそうな声があがりました。

中にはマイシユーズとマイチヨーグバッグ持参の強者も。

コロナ禍で色々な制限がありますが、これからも子ども達の笑顔が見られるような活動をしていきたいと思います。

『口ナ禍という今まで経験をした事がない自体に直面し、どの様な対策を取れば良いのか、どの様に活動を進めて行けば良いのか、判断に迷い非常に苦しい日々が続きました。地域の皆様の助けや励ましに、救われた日々を今でも忘れません。

まだまだコロナとの戦いは続きますが、苦しんで悩んだ経験は、今後の子ども会活動に役立つと思います。

これからも各団体と協力し、地域の子ども達の為に頑張っていきたいと思います。』

西区子ども会育成連合協議会
会長 菅野 幸一

みんなのマチをみんなで支える！
地域の輪！
小さな輪から大きな輪まで
みんなの笑顔で作りたいと思います。



広報調査部部長 根津

港区

港区においてもコロナ感染症の影響で、この二年間主だった活動が出来ずにいました。

今年度に入り、ようやく「みなとわんぱくまつり」が九月一八日（日）ミニ協主催・港区子連協賛で開催されました。

各団体及び各子ども会が「遊びのコーナー」で出店し、ちょっととしたフェステバール的な催しです。

多くの子ども達が遊びに来てくれました。

来期は、中止にされていた行事などが再開されると思いますので、港区連も協力を惜しまず、以前の脈 wijを取り戻していきたいと思います。



大正区

新型コロナウイルスの影響により、行政や学校の行事が中止になり、子ども会活動も自粛を余儀なくされました。

コロナ以前のような活動を行う事が難しい状況が続きましたが、今年度は感染予防策をしっかりと取ることで、各地域で子ども会による運動会や盆踊り大会が再開され、多くの子どもたちの笑顔が見られました。

大正区子連でも、市子連キックベースボール大会の予選会を八月二十一日（日）に千島グラウンドで開催しました。三軒家西子ども会が優勝し、大正区の代表に決まりました。当日、参加した子どもたちも久しぶりの区大会の試合を大いに楽しみました。

年間行事予定もほとんど実施を出 来ない現状にありますが「W-i-t-h・コロナ」を念頭に子どもたちの笑顔につながる、今だからこそ活動を行っていきたいと思います。



天王寺区

「ワクワクこどもダンボール」

天王寺区子連では、七月にほぼ一年ぶりに、ジュニアアリーダー研修を開催しました。感染症対策を万全に、感染者状況をみながら、ようやく開催に至りました。

記念すべき、本年度初のジュニアアリーダー研修会は、講師に段ボール業者の皆さんにお越しをいただき、身近な段ボール素材を使い、防災グッズの作り方を教えていただきました。大人も子どもも班に分れ、大人の重さに耐えられる椅子、避難所でも使えるベッドや目隠し等、色々なアイデアで段ボールが変身していました。

中々思うように押さえきれず、斜めやジグザグに段ボールを切つてしまったり、段ボールベッドに何人も乗つてみたりと、大人も子どもと一緒に体を動かし、とても良い研修会になりました。



ソフトボール練習体験会

「西淀川区ジュニアアリーダー一泊研修会」

九月十一日（日）に、第五回目となる「チャレンジカップ・オブ・ナニワ～浪速区こども球技大会～ソフトボールの部」を開催しました。

この大会は五年前に「公園でキャッチボールが出来ない都会で育つこどもたちに、スポーツに興味を持つきっかけ作りが出来たら」という思いで、浪速区役所、各種団体の協力のもと始めたものです。

コロナ禍のため三年ぶりの開催となりましたが、二回の事前練習会を経て沢山のこどもたちが集まりました。今までやったことがないソフトボールに戸惑っていたこどもたちが徐々に上達していく姿に感動しました。

た。

これからも、こどもたちが新たなことにチャレンジする機会を、ひとつでも多く作っていきたいと思います。

浪速区こども会連合協議会

会長 竹内 健祐



浪速区

「西淀川区ジュニアアリーダー一泊研修会」

貝塚青少年自然の家

今回のJ-L研修はコロナ禍であり感染症対策を意識しながら行う、新しい形の研修となりました。

進行を務めるシニアアリーダーの人数が少なく大変苦労しましたが、無事に研修を終えることが出来ました。私自身、今回初めてPD（司会的な役割）を務め「人に正しく正確に支持を伝える難しさ」を感じました。

ただ、私が苦慮している中、研修生の皆さんのが、一生懸命に話に耳を傾けてくれたのを、はつきり覚えています。おかげで「まだ、あきらめちゃだめだ」と気を引き締める事が出来ました。研修生の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

最後にPDとして色々な事に気を配りながらの研修でありましたので、とても疲れましたが、良い経験となりました。

何より参加者全員が楽しめる研修になつて良かつたです。



西淀川シニアアリーダークラブ
原 優心

西淀川区

九月三日～四日 貝塚青少年自然の家にて研修生十四名・スタッフ九名で事前研修と二日間の研修を行いました。

今回の研修のテーマ「ワンステップ」、研修生とスタッフは自己と班での目標を持って活動に臨みました。

一日目は雨天のため、キャンドルファイアを行いました。研修生とスタッフともにレクレーションを楽しめたと思います。自然の木々に囲まれた体育館では虫の音が聞こえ、それに感動する研修生の姿が最も印象的でした。

晴天の二日目は野外炊事を行いました。全員で薪の組み方を学び、火加減に苦戦しながら班で協力しながらカレーを作ることが出来ました。研修生は目標達成に向けて自身の役割を考え、特にジュニアリーダーが良きお手本として行動してくれたと思います。スタッフ間では地域の子どもたちが、この活動に参加してもらえるように話し合い、課題を見つけることが出来ました。

今後も子どもたちにとつて楽しく安全な研修を考えていきたいです。



西淀川区シニアリーダークラブ
野見 優紀

淀川区

この二年半ほど、予定されていた行事が中止になり、子ども会行事はほとんど行われる事なく過ぎてきました。今年の夏頃からは、地域の判断により盆踊りなどが行われました。

淀川区子ども会も九月に入つてから、淀川区民祭りで子ども神輿パレードの参加、キック・ソフトの区大会開催で子ども達の声と笑顔を見る事が出来ました。

まだまだ復活したとは思えませんが、これからは今までの状況を踏まえ、少しずつ前に進めるように皆さんで協力して行きたいと思います



東淀川区新庄連合子供会です。
本年度は、ラジオ体操を七月二十日～七月三十一日の間、地域の方々の協力を得て、感染症対策を万全に行い小学生を対象に、二年ぶりに開催しました。

最初は、上手く出来なかつた子ども達も毎日参加していく中で、少しずつ出来ていく姿が見受けられました。最終日には、子供会清掃活動として新庄小学校の周辺を清掃しました。



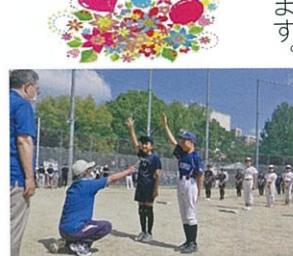
「第四十八回東成区キックベースボール大会」を開催しました。

東中本運動場にて開催しました。コロナウィルス感染拡大の影響で三年ぶりの開催になりました。ソフトは五校下、キックは三校下が参加しましたが、人数が足りず合同チームで参加した校下もありました。もちろん感染症対策にも充分注意を払いました。

練習も充分に出来ない状況下でありますましたが、子ども達は元気いっぱい頑張りました。

各校下の校長、教頭、PTA会長や役員。地域の方々も応援に駆け付けて下さいました。

ソフトボール優勝は東小橋小学校二校は東成区代表として大阪市的大会に出場します。



東淀川区

令和四年六月十一日（日）

東成区子供会育成連合協議会主催「第五十九回東成区

「第四十八回東成区

キックベースボール大会」

ソフトボール大会

東成区

生野区

「コロナ感染症がなかなか終息しない中、区子連理事・役員の皆さんで知恵を出しながら少しづつ前に進んでおります。

子ども達の「思いを形にする力（創造力）」や「自主性」を伸ばしていく事を模索し行事として開催できるよう仲間と意見を交換しながら取り組んでおります。

固定概念に囚われず、ワクワクする事をこれからも企画し、楽しく活動していきたいと考えております。

各 区 の 活 動 記 事



会長 原 憲司



城北子ども会育成連合協議会 (城北ユニオンズ優勝)

「区子連ソフトボール大会」

今年度の区子連ソフトボール大会を蒲生公園グラウンドで開催しました。

当日は城東区内の三チームが日ごろの練習の成果を出し熱戦が繰り広げられました。

大会成績は次の通りでした。

優勝 「成育連合子ども会」

準優勝 「鯰江・鯰江東連合子ども会」

三位 「すみれ連合子ども会」

城東区では、コロナ以前は五チ

ムありましたが、コロナ禍の影響で三チームに減少しました。なかなか

試合も練習もできない期間もありま

したが、区内の各チームで協力し、これからも城東区を盛り上げたいと

思います。

広報調査部 山寺亜矢子

鶴見区は、区内に花博記念公園鶴見緑地を有し、恵まれた環境の中、九校下で活発な子ども会活動を推進しています。

五月には、第四十九回区子連主催キックベースボール・ソフトボール大会を開催し、元気あふれる子ども達のプレーを見ることができました。子ども達の笑顔は、保護者や指導者にも元気を与えてくれました。

秋には、低学年の野外活動として、芋掘りを予定しています。

文化育成では、来年一月に第46回 子ども文化祭を開催し、ダンスパフォーマンスをはじめ、様々な文化活動の発表の舞台を企画予定しております。

子ども達の活動の機会が制限される中、笑顔と元気、達成感を全力でサポートしていきたいと思います。

鶴見区子ども会育成連合協議会
会長 久野 明

旭区

城東区

鶴見区



阿倍野区

「やまととステイ」

さて、「口ナ禍でイベントは全滅かい？おっとドッ」「いしぶとく頑張っています。

【やまととステイ】も今回で二十六回目 阿倍野区子連名物！夏休み恒例の一泊三日のお泊りイベントです。

「国立曾爾青少年自然の家」が今回的目的地です。

奈良県の東端、三重県との県境に位置する。緑濃き山の中。総勢四十五名での宿泊体験活動を実施しました。
飯盒炊飯・キャンドルファイア・クラフト籠作り体験等々…
大都会を離れて大自然の中での色々な体験は笑顔いっぱい、夏休みの素敵思い出です！



「第四十八回 区子連夏季ソフトボール大会」

【区子連夏季ソフトボール大会】

ここ二年間コロナ禍の中、予定していた行事の延期や中止の繰り返しで区子連として何も活動ができないまま時だけが過ぎ、今年度は、六月十九日（日）に三年ぶりに区子連ソフトボール大会を開催することが出来ました。

大会は四チームの参加で、練習をする環境が中々整わない中、各試合熱戦が繰り広げられ、加賀屋連合が優勝しました。

元気なプレーと大きな声がグラウンドに響き渡り、子ども達に元気をもらつた気がします。
まだまだ、制限が続きますが、対策を万全にいろいろな行事を開催して行きたいと思います。

住之江区子ども会育成連合協議会 副会長 河合 隆之



住之江区

『令和四年度 救急救命講習会』

五月二十二日（日）「救急救命講習会」を住之江区子連・住之江区青

指の共催で住之江小学校体育館にて講師に住之江消防署員の方を招いて実施開催する事が出来ました。

当日、三十一名の方が参加し、普通講習三時間を受け講しました。

初めに一時間程のビデオで救急救命の現状及びAEDの使い方の説明を学び、その後、実地講習が始まりました。三十一名を三班に分けて専用の人形を使いAEDが上手く使用出来るのかを体験しました、要救護者に声掛けをしてAEDを操作する方、救急に連絡をする方、AEDを持つて来くる方の役割をそれぞれ順番に体験しました。

夏休み前の実施でしたので、万が一にも緊急な場面に遭遇しても落ち着いて対応ができる様にと、参加者が真剣に取り組む姿が印象的でした。
住之江区子ども会育成連合協議会 事務局長 小川



住吉区

一〇一九年より始まつたコロナ禍の中、緊急事態宣言発令や社会活動の自粛などの大きな影響を受け、住吉区子ども会育成連合協議会においては、各単位子ども会の登録者数の減少、活動自体の自粛などにより、二年間予定した活動・行事がほとんどできないまま、時間がだけが過ぎ、役員は歎息いで過ごしてきたというのが正直な感想です。

ただ、今年度は、住吉区マラソン大会、ドッチボール大会などの通常行事を開催する方向で予定されており、是非とも子ども会活動へ積極的な参加を会員の皆様にお願いし、盛り上げていきたいと考えております。
子ども達の成長・育成のためにも今、出来ることを考え、この難局を打破しましょう。

今年度はまだ、活動が出来ていなかったため、昨年度唯一、開催された第二十回住吉区ソフトボール大会の模様を写真で紹介します。
住吉区子ども会育成連合協議会 事務局長 鈴木



東住吉区

第五十五回

親善キックベースボール大会 ソフトボール大会



秘密兵器

各 区 の 活 動 記 事

七月十日、昨夜からの大雨そして曇天からの快晴。目まぐるしい天候の変化に翻弄された大会開催でした。最初は約二十名体制でのグランドの水抜き、開催時間の調整、並行してのコート設営。秘密兵器も提供頂き、約二時間遅れで開催に漕ぎつけました。

ソフトボール大会ではチーム関係者・選手達もこの日を目標に仕上げて来たようで、各試合で熱戦が繰り広げられ決勝については僅差ではありますでしたが、三十五年ぶり十一度目となる北田辺子ども会さんに軍配が上りました。

キックベース大会については不戦勝で今川連合子ども会さんが市子連大会でのリベンジに燃えています。これからも指導者・育成者の皆さんと楽しい行事を開催したいと思います。

七月十日、昨夜からの大雨そして曇天からの快晴。目まぐるしい天候の変化に翻弄された大会開催でした。最初は約二十名体制でのグランドの水抜き、開催時間の調整、並行してのコート設営。秘密兵器も提供頂き、約二時間遅れで開催に漕ぎつけました。

ソフトボール大会ではチーム関係者・選手達もこの日を目標に仕上げて来たようで、各試合で熱戦が繰り広げられ決勝については僅差ではありますでしたが、三十五年ぶり十一度目となる北田辺子ども会さんに軍配が上りました。

キックベース大会については不戦勝で今川連合子ども会さんが市子連大会でのリベンジに燃えています。これからも指導者・育成者の皆さんと楽しい行事を開催したいと思います。



平野区子ども会育成連合協議会

会長 吉田 英也



西成区子ども会育成連合協議会

会長 住釜 芳浩



今年度は感染症対策を万全にとり、ソフトボール・キックベースの区大會から行事を本格的に再開しました。子ども達のコロナ禍における練習不足が心配されましたが、無事に開催する事が出来、嬉しく思いました。

今後もまだ安心出来ない状況が続きますが、行事などに子ども達が笑顔で安心して参加出来るように活動していくことを願っています。

最後はキャンプファイヤー。

これには経験が必要になるので、これからかと思います。

無事に終えた安堵と、今後の内容に向けて期待をしています。

平野区子ども会育成連合協議会では、二十六年にわたる新型コロナ感染症の影響で様々な行事やイベントが中止や縮小になり、残念な思いをしました。

今年度は感染症対策を万全にとり、

ソフトボール・キックベースの区大會から行事を本格的に再開しました。子ども達のコロナ禍における練習不足が心配されましたが、無事に開催する事が出来、嬉しく思いました。

その後にテントの設営研修。昔のテントとは違い組立てが簡単になっているので、指導者も楽々覚えて

ジュニアリーダーに指導が出来ました。

西成区

ジュニアリーダー & 指導者合同研修会



今川連合子ども会



北田辺子ども会

市子連

編集後記

今回は初めて大阪市24区すべての活動報告記事に特化した「いくせい97号」に仕上りました。コロナ禍が続く中、記事集めは大変でしたが、各区の皆さんご協力、ありがとうございました。

市子連広報調査部



「ジュニア・シニアリーダー1泊研修会」
令和4年9月23日(金)～24日(土)
大阪市立信太山青少年野外活動センター

参加者46人

